

一般社団法人 **全国高等学校PTA連合会** **会報** No.102

一般社団法人全国高等学校PTA連合会
 (連絡先) 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町2-1 (奥田ビル) TEL03-5835-5711 FAX03-5835-5757
 発行人 田名部 智之 URL <http://www.zenkoupren.org/> eメール info@zenkoupren.org



ご挨拶

一般社団法人全国高等学校PTA連合会会長

田名部 智之

本年度も、全国高等学校PTA連合会に対し、多大なるご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。また、各都道府県・地区そして単位PTAの活動に尽力されており、ことに敬意を表させていただきます。会報誌は今号が第102号を迎えることとなりました。先輩方の築いてこられた歩みを継ぎ、こうして継続的に発行できまことに、改めて深く感謝申し上げます。

来に向けて決めていかなければなりません。昨今の高校教育を取り巻く環境は、これまでにない速度で変化しています。学習指導要領の改訂、地域間の教育格差、ICT環境の整備状況、教員の働き方改革、そして高校生自身の価値観や進路観の多様化等、いづれも一朝一夕に解決できる課題ではありません。だからこそ、これらの変化の中で、PTAが果たす役割は決して小さくないと強く感じています。

私は昨年より文部科学省の中央教育審議会の委員として各部の審議に参加しておりますが、多様な立場の専門家が集まり、子どもたちの将来のために真摯に議論を重ねる会議は、ダイレクトに国の法律や予算に多大な影響を与えており、役割と責任の重要性をあらためて痛感しております。

この委員は全国高P連という大きなチカラが認められての任命であります。選出されたからには、高等学校PTAの立場、地域の経営者の立場から会議では率先して意見を述べております。結果、授業料無償化や教職員の働き方改善、電子化、地域コミュニティー、大学進学についてなどに予算を新設もしくは増額、そして制度に具体的な文言を明記していただくなど目に見える成果が出ていることを大変嬉しく思っております。特に高等学校の段階においては、家庭・地域・学校の連携が教育効果に直結し、進路選択や社会形成力の育成にも大きな影響を与えます。その連携の要となるのが、私たちPTAの活動です。

今号の主な内容

会長挨拶	1～2頁
令和7年度 全国高P連の活動報告	2頁
地区トピックス	2～5頁
東北地区／東京地区／東海地区	
第75回全国高等学校PTA連合会大会大分大会 (ご案内)	6～7頁
賠償責任補償制度のお知らせ	8頁

令和七年度 全国高P連の活動報告

令和7年度 定時総会開催

令和7年6月28日(土) 令和7年度定時総会を東京ガーデンパレスにて開催いたしました。

本会会員の都道府県市高等学校PTA連合会出席の下、第1号議案、第2号議案は多くの賛同を得て可決されました。

代表理事(会長)には田名部智之氏が再任いたしました。

第74回全国高等学校PTA連合会大会三重大会開催

出会いはじまる常若のくに「集い、想い、継ぐ」三つの重なる明日への力

は「行動のないところに、幸福は生まれない」と言葉を残しました。私た

ちPTAは、まさに「行動する組織」です。どんなに小さな一歩であつて

も、その積み重ねが子どもたちの未来を確かに支えていきます。

これからの全国すべての学校、すべてのPTA、そしてすべての生徒たち

が安心して学び、成長できる環境をともに創ってまいります。皆様の

ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

令和7年8月21日(木) 22日(金)の二日間にわたり、三重県津市にて開催いたしました。夏の太陽と大会の熱気の中、全国からお集まりくださった6,000名の保護者と学校関係者のみなさま、ご尽力いただきました三重大会小野実行委員長はじめ日出不ずる国カラーのユニフォームの三重県高等学校PTA連合会のスタッフのみなさまが一堂に会し、大盛況に開催することができました。伊勢の神様に見守れて多くの学びのある大会となりました。

令和7年度 全国会長・事務局長連絡会・研修会開催

令和7年10月4日(土) 5日(日)広島ガーデンパレス及び広島平和記念資料館において令和7年度全国会長・事務局長連絡研修会を開催いたしました。

成功裏に収めた令和7年度全国大会三重大会報告・来年度開催いたします全国大会大会案内等の情報共有がなされました。

連絡研修会では今後のデジタル教科書について、保護者の意識や働きかけや子どもへの接し方の大切さについて文部科学省担当者か

らの話がありました。その後会長と事務局長が分かれてのグループ協議が行われ、会長会ではPTAの任意性を踏まえ多様で柔軟な関わり方の必要性が論じられました。また、事務局長会では各地区・都道府県市高等学校PTA連合会の抱える問題が提起され、引き続き協議していく必要があることを確認いたしました。

広島平和記念資料館においては、被爆体験伝承講話研修、資料館見学と戦後80年となる今改めて平和について考える機会になりました。

「魅力ある広報紙の作り方」という演題で行われたこの研修会には、全体で37名の参加がありました。講演の内容は、記事を作る基本として「誰が読むのか意識、内容を絞る」という普段見落としがちなことや、読者を惹きつける工夫として「見出しの重要性、

数字を使う」こと、「動きを意識、よりアップで撮る」写真の使い方など、大変興味深いお話をたくさんいただきました。新聞記事の実例を題材にしながらかお話しいただき、見出し付けの体験や参加者のやり取りもあり、一時間半ほどでしたが充実した楽しい研修会となりました。

また、会長・事務局長別に情報交換会では活発な意見交換がなされ、会長情報交換会・事務局長情報交換会とも前もって実施したそれぞれのアンケートを活用した発表・協議・情報交換が行われ他連合会の情報を持ち帰っていただきました。

全国大会開催県報告として、令和7年度三重大会報告、令和8年度大分大会案内、令和9年度東京大会案内が

なりました。

地区トピックス

東北地区

「研修会で深める」オトナの学び

宮城県高等学校PTA連合会

宮城県高P連では、各委員会ごとに毎年研修会を開催しています。

今年度は、全ての委員会が全県を対象に参加者募集を行い、そ

れぞれ「オトナの学び」を深めました。

調査広報委員会

調査広報委員会では、毎年、PTA広報誌作成のための研修会を開

いていきます。今年も9月17日(水)に宮城県青年会館を会場に、(株)河北新報社から越中谷郁子氏を講師にお招きしてご講話をいただき

ました。「魅力ある広報紙の作り方」という演題で行われたこの研修会には、全体で37名の参加がありました。講演の内容は、記事を作る基本として「誰が読むのか意識、内容を絞る」という普段見落としがちなことや、読者を惹きつける工夫として「見出しの重要性、

数字を使う」こと、「動きを意識、よりアップで撮る」写真の使い方など、大変興味深いお話をたくさんいただきました。新聞記事の実例を題材にしながらかお話しいただき、見出し付けの体験や参加者のやり取りもあり、一時間半ほどでしたが充実した楽しい研修会となりました。

また、会長・事務局長別に情報交換会では活発な意見交換がなされ、会長情報交換会・事務局長情報交換会とも前もって実施したそれぞれのアンケートを活用した発表・協議・情報交換が行われ他連合会の情報を持ち帰っていただきました。

全国大会開催県報告として、令和7年度三重大会報告、令和8年度大分大会案内、令和9年度東京大会案内がなりました。



「魅力ある広報紙の作り方」講師 越中谷育子氏

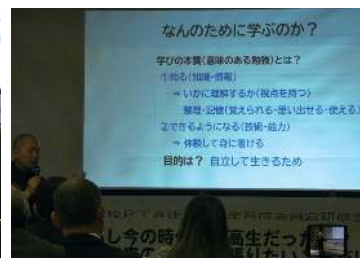
健全育成委員会

健全育成委員会研修会は、12月18日(木)栗原市文化会館を会場に、『反応しない練習』『怒る技法』等の著作で知られる僧侶で作家の草薙龍瞬氏に、「もし今の時代に中高生だったら？未来のために頑張りたいこれだけのこと」という題で、56名の参加のもと講演いただきました。

「機感」という感情が「ヤル気」＝モチベーションを高めたい、というお話でした。また、大人の役割は子供たちに「与えない」「本気で怒る」「ダメはダメ」という線引きを明確にしつつ、よき理解者としての関係性を築き、子どもたちが体験することを促し「将来への準備」を支えること、とのお話に感銘を受けました。最後に、「教育は文化、語り継がないと消滅する」と、未来を育てるために理解して伝えることの大切さを強調しお話を締めくくられました。



講師 草薙龍瞬氏



健全育成委員会講演会

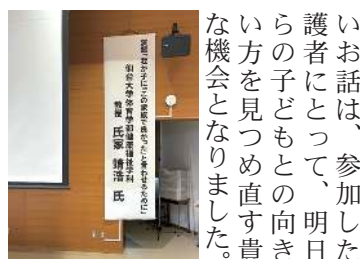
進路対策委員会

1月15日(木)仙台第三高校を会場に、仙台大学教授の氏家靖浩氏を講師に迎え、進路対策委員会主催の研修会が開催されました。宮城県大崎市出身の氏家氏は、精神科病院の心理士や福祉施設のソーシャルワーカーとしての豊富な経験を持ち、いじめ防止や就業支援など、幅広く社会活動にも尽力されています。講演では、「我が子に『この家族で良かった』と言わせるために」という演題のもと、現代の高校生が抱える心理的状況を踏まえ、親としてどう向き

合うべきかが語られました。子どもの言葉を否定せず、まずは丸ごと受け止める受容の姿勢が家族への信頼感に繋がるといふことや、自立に向かう子どもとの適切な距離の取り方について、心理学的な知見から解説していただきました。



進路対策委員会のようす



進路対策委員会研修会

地区トピックス

東京地区

東京都立高等学校PTA連合会

つながりを大切にしたいPTA活動

東京地区では、「子育てや仕事などで忙しい保護者でも、楽しく無理なくつながり合う連合会であり続けたい」という思いのもと、令和7年度も様々な「つながり」を大切にしたいPTA活動」を行いました。その一部をご紹介します。

「第36回 東京地区高等学校PTA連合会大会」

2025年7月12日、東京都立向丘高校にて、第36回東京地区高等学校PTA連合会大会を開催いたしました。この大会は、東京都の公立高校のPTA会員や関係者が一堂に会し、学び合い交流す

る場として毎年行われています。

第36回のスローガンは、「学ぶ！聞きたい力と伝えたい力」。オープニングアクトでは、都立向丘高校軽音楽部が演奏を披露し、会場を盛り上げてくれました。講師に企業研修講師の葉山美奈子先生を

迎えた基調講演「プレナムチェンジでグリーンと楽になるコミュニケーション」では、思春期の子どもとのコミュニケーションにおけるお話をいただいた他、ワークセッションも行われました。

また同日には、地区大会連動企画として「PTA広報にまつわるよもやまお話会」を開催、東京地区笹原会長による基調講話「PTA広報ってこんなに面白い！」に続

いてディスカッションタイムがあり、広報活動における悩みやノウハウを共有したり、異なる学校PTAの広報担当者がつながる機会となりました。



「2025年未大会議！」
 2025年12月6日、練馬区立区民・産業プラザ研修室にて、「2025年未大会議！」を開催いたしました。この会議は、東京地区の単位PTAの会長のみならず、PTA役員や委員にも参加を呼びかけ、広くつながり合う機会として近年行われていました。第1部「大会議」ではPTA活動に関する情

報共有や意見交換を行い、第2部「忘年会」では、都高P有志メンバーによる「ウクレレサークル」が演奏を披露したほか、ミニゲームなどのレクリエーションで盛り上がり、交流を深めました。



「サークル活動」文学散歩」
 雑司ヶ谷文学散歩・七福神めぐり」
 2024年に都高P連役員の呼びかけで始まったサークル活動「文学散歩」。このサークルは、文学作品にちなんだ地域を散歩するイベントを不定期で開催しています。
 2026年1月11日の「雑司ヶ谷文学散歩・七福神めぐり」では、

池袋・雑司ヶ谷エリアの7箇所の七福神をめぐった後、夏目漱石や小泉八雲など多くの文豪が眠り、漱石の「こころ」の舞台の一つでもある雑司ヶ谷霊園と、護国寺エリアを散歩しました。文学作品やその舞台について、また、子育てやPTA活動について語らいながらの散歩を通して、初めて会った参加者同



士も自然と親睦を深めることができました。

地区トピックス
東海地区
愛知県公立高等学校PTA連合会
「互いに学び、楽しくつながるPTA活動」より

愛知県高P連では、他校で行われているPTA活動を学び、新たな気づきやヒントを得て自校のPTA活動に生かすとともに、家庭での教育力向上を図ることを目的として、平成27年度より「互いに学び、楽しくつながるPTA活動」事業を実施しています。この取組は、単位PTAの取組を「ノンジャンル部門」「特別支援部門」の2部門で募集し、紹介するものです。
 応募された取組は、全てのPTAからの投票

に基づいて「県P連会長表彰」及び「Goodアイデア！賞」の受賞団体を選出し、翌年度の県P連定期総会で表彰を行っています。また、会長表彰団体には全県のPTA代表者が集う研修会において活動発表も行つて頂きます。
 令和7年度の会長表彰団体（ノンジャンル部門2団体、特別支援部門1団体）の活動事例を紹介いたします。

ノンジャンル部門
 愛知県立津島高等学校PTA
 「きみの可能性は無限大～保護者から子どもたちへのメッセージ～」

近年、高校生は、日々抱いている様々な疑問や悩み・迷いに対して、スマートフォン等を用いて指先一つで答えを検索することができるようです。しかし、その答えは、時として表面的であったり、自らの耳に心地よい情報であったりします。
 高校生が抱く疑問や悩みの中には、「働くということ」「職業を選

択するきっかけ」など、進路に関する事柄もあります。子どもの将来や進路については家庭でも日ごろから話をしています。保護者自身が経験したことのない学問や職業については、少々心許なくなります。

そこで、津島東高等学校PTAでは、進路委員会を中心に、多岐面で活躍されている会員の皆様に、御自身の経験を『子どもたちへのメッセージ』という形で寄稿していただき、「きみの可能性は無限大」と題してPTAだより『晨風』へ掲載することを計画し、実現しました。また、この取組が子どもの内面に働きかけることができ

たかについて、読後アンケートを実施して効果の検証を試みました。今年度は6名の方に原稿を寄せていただきましたが、文面からは人生の先輩としての助言や子どもたちの成長と幸せを願う保護者の想い、そして子どもたちへのエールがあふれていました。

読後アンケートでは、「家庭で進路や職業について話す機会ができた」という回答が生徒・保護者とも半数を超えること、そうした家庭では「進路や職業について考えるうえで大変参考になった」「参考になった」を合わせると、生徒・保護者とも9割を超えること、そしてこの取組の継続

を多くの家庭が望んでいることが分かりました。また、読後コメントから、子どもたちの心に働きかけることができたことも読み取ることもできました。
 この成果を次年度以降につなげ、より多くの職業・進路の情報を提供できるように協力を呼びかけていきたいです。



「きみの可能性は無限大～保護者から子どもたちへのメッセージ」

6名の保護者が、自身の進路選択・職業選択の経験を文章にして生徒たちへ伝えました。



学校祭を参観された保護者から「子どもたちへの応援メッセージ」が寄せられました。

ノンジャンル部門
愛知県立岡崎北高等学校PTA
「カラダとココロのやさしさ体験
あなたの心を知る、私からひろ
がる共感」

自分とは違う立場や状況を理解し、他者に目を向けられる優しさ、思いやりの心を育むことを目的として、とにかく体感してほしい、知ってほしい、気づいてほしいという思いから、学校祭「北高祭」の2日目に体験中心のブースを企画しました。講師として岡崎市役所子ども家庭センター及び愛知医科大学メディカルセンターに御協力

いただきました。

〔医療ブース〕

講師：愛知医科大学メディカルセンター
目標：自己の体に向き合うことで、自分自身にも関心をもち、自己の体、心も大切に感じる。

・バイタル測定

看護師の指導の下、ペアになって、互いの血圧、脈拍、経皮的動脈酸素飽和度、呼吸数を測定する。

・車いす体験

理学療法士の指導の下、車いすに「乗る側」と「介助する側」を体験する。

・熱中症対策

熱中症対応の資料の揭示を行う。

〔福祉ブース〕

講師：岡崎市役所子ども家庭センター
目標：妊婦体験を通じて、将来の家庭のイメージを思い浮かべるとともに、自分とは違う状況の他者に気づくことにより、社会性の向上と、相手の気持ちに寄り添った行動ができる。

・妊婦体験

妊婦ジャケットを着

用した状態で、妊娠7、8か月の妊婦の様々な動作を体験する。

・沐浴体験

沐浴の様子を見学し、注意点を説明を受ける。

・赤ちゃんのお世話体験

実際の重量が再現された赤ちゃんの人形を使用し、名前で呼びながら、抱っこ、着替え、体重測定を体験する。母子手帳の内容を確認する。

体験した生徒からは、「将来子どもができたときに役立ちそう」や「困っている人がいたら手助けしてあげたい」等の感想が寄せられ、将来の家庭のイメージをもつことや、他者への思いやりの心を育むことを目的とした、各ブースの目的が達成できました。また、体験してみても「初めて知った」との意見があり、今回のPTAブースの取組が有意義なものであったと感じることができました。



妊婦さんを体験中。体が重くて思うようには動けず大変です。



先生も生徒と共に車いすに挑戦しました。

特別支援部門

愛知県立佐織特別支援学校PTA
「大人の防災訓練+α」今ここで災害が起きたら我が子はどうする？どう動く!?」

災害時に本場に必要なのは何か。佐織特別支援学校PTAでは、防災防犯部が中心となって「大人の防災訓練+α」を企画しました。

始めに、障がいのある我が子について、在宅時だけでなく、学校や事業所での顔も把握する必要がありますと考えました。また、災害弱者ではあっても、避難した先で何か協力できることはないかを考えるとともに、被災経験のある会員から体験談を聞いて、少しでも子どもの不安を減らすこ

とができるよう、今できる備えについて話し合いました。

〈導入し子供の事を深掘りしてみる〉
子供が見せる姿・顔は、家、学校、事業所でそれぞれ違うが、どれもその子の一面である。避難した時にどの一面が出るかは分からないので、思い浮かぶ姿を書き出して整理してみる。

（シエイクアウト訓練を体験）
参加者全員で、体を小さくして頭を守るシエイクアウト訓練を体験。

〈今災害が起きたらどうなる？どう動く!?をシミュレーション〉
参加者同士で相談しながら、子供と避難した時に配慮してほしいことを付箋に書き出し、①環境整備②事前準備③普段から取り組めること④その他に分別する。

（避難所で自分が協力できそうなこと）
付箋に書き出し、「皆が被災者」「皆が避難所運営者」という意識をもつ。

（東日本大震災被災経験者の体験談を聞く）
被災経験のある会員

から東日本大震災被災時の体験談を聞く。

和やかな雰囲気の中にも真剣な話し合いが行われました。

研修後には「今後は自分事として考えていきたい」「近所の方と、我が子の障がいのあることをもう少し共有しようと思った」「いざというときに「お互い様」といえる環境を作りたい」という感想が聞かれました。

今後も子供たちを守るために保護者と学校は何かできるのか考える機会を設定していきたいです。



「皆が被災者」「皆が避難所運営者」という意識をもつ



避難所で自分が協力できそうなこと



第75回全国高等学校PTA連合会大会 2026大分大会

【大会テーマ】 ♪ 湯ごころ 真ごころ 親ごころ
～ 輝く未来を切り開け ～

大会1日目 8月20日(木) 分科会(5会場)

11:30～	受付
13:00～13:20	アトラクション
13:30～13:50	開会行事
14:00～15:00	基調講演
15:15～16:30	基調講演、ワークショップ、ディスカッション
16:30～	閉会行事

大会2日目 8月21日(金) 全体会

会場：別府国際コンベンションセンター(ビーコンプラザ)

8:00～	受付
9:00～	アトラクション 由布高校「郷土芸能部」
9:30～10:30	開会式、表彰式
10:40～11:50	記念講演 内川 聖一 氏 (野球解説者) 演題「夢が導く諦めない気持ち」
12:00～12:30	閉会式
13:00～	教育視察(予定、希望者)

分科会紹介

- 第1分科会 「PTAの役割と未来」～今こそ、考えてみようPTA活動の意義～
基調講演：大分大学高等教育開発センター 岡田正彦教授
会場：別府国際コンベンションセンター コンベンションホール
- 第2分科会 「大学入試と非認知能力」～変化の激しい時代にどう対応するか～
基調講演Ⅰ：河合塾 東日本営業部 塚本裕司部長
基調講演Ⅱ：河合塾 学校事業推進部 山口大輔部長
会場：別府国際コンベンションセンター フィルハーモニアホール
- 第3分科会 「ダイバーシティの力」～多様性の中ではぐくむ地域・人材・未来～
基調講演：立命館アジア太平洋大学 サステナビリティ観光学部 大橋弘明教授
会場：立命館アジア太平洋大学 ミレニアムホール・グリーンcommons
- 第4分科会 「災害から護る力」～自分・家族・地域を護る防災教育～
基調講演：大分大学 減災・復興デザイン教育研究センター長 鶴成悦久教授
会場：J:COM ホルトホール大分 大ホール
- 第5分科会 「不登校は心のメンテナンス！」
～大人が子どもたちから謙虚に学ぶ、傾聴～
基調講演：東京家政大学 人文学部心理カウンセリング学科 杉山雅宏教授
会場：iichiko総合文化センター グランシアタ

参加申込期間	令和8年6月1日(月)～6月26日(金)		
参加申込方法	大分大会ホームページに、準備ができ次第掲載します。		
参加費	8,000円(現地参加1名あたり) ※ 現地参加された学校は、アーカイブ視聴もできます。		
アーカイブ視聴費用	7,000円(1校あたり) ※ 大分大会は全体会・分科会のライブ配信は行いません。		
会場アクセス	全体会および	JR別府駅 西口	西へ上り坂道1.3km(徒歩20分)またはシャトルバス
	第1・2分科会		
	第3分科会	JR別府駅 西口	亀の井バス5番(野口原経由)または41番(サファリ線)(約35分) JR別府駅 東口 亀の井バス24番(新港町経由)(約40分) JR別府駅 東口 大分交通バス50番(約35分)または55番(快速、途中下車なし、約25分) JR別府駅 東口 大分交通バス51番(約40分) ※ シャトルバスについて検討中です。ホームページにてご案内します。
	第4分科会	JR大分駅 南口	(徒歩2分)
	第5分科会	JR大分駅 北口	商店街を通り約1.0km(徒歩15分)、タクシー(5分)



扇状地 別府の“湯けむり”



大分市高崎山自然動物園



由布市「庄内神楽」



白杵石仏火祭り



宇佐神宮



九重夢吊り大橋



全国大会ホームページはこちらから

<https://pta2026-oita.jp/> または



皆様のご参加をお待ちしております！

大分県高等学校PTA連合会
第75回全国高等学校PTA連合会大会2026大分大会実行委員会

全国高等学校 PTA 連合会賠償責任補償制度のお知らせ
 あなたの学校も加入しませんか？ 全国加盟高校の 2 校に 1 校が加入しています。

掛金

年間400円（保険料391円 + 制度維持費 9 円）× **生徒数**

※補償開始日が令和 8 年 4 月 1 日の場合。 補償期間中の加入については、月ごとに掛け金が減額となります。

補償期間

令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 4 月 1 日

補償の範囲と支払済高額事故事例

<生徒もしくはPTAに過失があった場合が対象となります>

補償の範囲	支払限度額		免責金額（自己負担額）		事故発生 件数割合
1. 生徒の行為に起因する賠償責任 (生徒個人およびその親権者等の 法定監督義務者)	対人・対物 合算	1 事故につき 1 億円	1 事故につき	5 千円	99%超
2. PTA活動の遂行に起因する賠償責任 (PTAの賠償責任)	対人・対物		対人・対物 それぞれ 1 事故につき	1 千円	1 %未満
	対人	1 名につき 5 千万円 1 事故につき 5 億円			
	対物	1 事故につき 5 千万円			
	保管物	加害者 1 名につき 保険期間中 10 万円 500 万円	1 事故につき 5 千円		

年度	支払金額	事故内容
平成19年度	8,791 万円	無灯火の自転車 ^① で歩道を走行中、後ろから人に追突し転倒させ、脳挫傷により要介護状態となり、死亡させた。 【過去最高支払金額】
平成24年度	2,246 万円	プライベートで外出中、 <u>自転車同士</u> の接触事故。相手方脳挫傷となり、5 か月後に死亡させた。
令和元年度	4,754 万円	自転車走行中、対向の歩行者を見て右に避けたところ相手歩行者も同じ方向に避け衝突し、相手方死亡。

詳しくは、「全国高 P 連賠償責任補償制度」手引き・パンフレット・チラシをご覧ください。
(各学校へ 1 月下旬にお送りしています。)

●制度についてのお問い合わせ窓口

一般社団法人 全国高等学校 PTA 連合会
 東京都千代田区神田佐久間町 2-1
 奥田ビル 301 号
 TEL.03-5835-5711

●引受保険会社

引受幹事保険会社	東京海上日動火災保険株式会社 (担当：公務第二部 文教公務室)	TEL.0120-889-980
共同引受保険会社	AIG 損害保険株式会社 三井住友海上火災保険株式会社 損害保険ジャパン株式会社	

AIG AIG 損保

一般社団法人 全国高等学校 PTA 連合会後援

AIG 高校生外交官プログラム
(参加費無料)

<https://www.highschooldiplomats.org>



「育てたいのは、
子どもたちの未来。」

私たちはAIG高校生外交官プログラムを協賛しています。

AIG 損害保険株式会社

MS&AD 三井住友海上

安心のゴールキーパーでありたい。



クルマの保険

すまいの保険

ケガの保険

いついかなる時も、
いちばんそばに。



東京海上日動


特設サイト
公開中!

<https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/itsu-ichi/>


SOMPO

その声を安心に変えて。

補償範囲を見直してほしいというリクエスト。規約がわかりづらいといったご指摘。毎日、お客さま一人ひとりの声に全力で耳を傾ける。毎日、いただいた声を元に保険を見直し続ける。そうやって、私たちが向き合っているのは、目の前のお客さまの安心だけではなく、未来のお客さまの安心でもある。これからも、ずっと。お客さまの声に聞き合い、進化をつづけていく。



▼特設サイトはこちら



損保ジャパン

こちらのご案内は P T A 賠償責任保険の概要についてご紹介したものです。保険の内容は「全国高 P 連賠償責任補償制度」のチラシ・パンフレットをご覧ください。詳細は各学校へお渡ししてあります「全国高 P 連賠償責任補償制度」の手引き記載の保険約款によりますが、ご不明の点がありましたら引受幹事保険会社までお問い合わせください。